

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818このニュースについてのご意見、
ご要望をお寄せください。

共産党が品川区に新型コロナ対策を緊急要望

PCR検査の拡充と 区独自の支援策を



共産党区議団は4月10日、濱野区長に新型コロナウイルス対策の緊急要望を行いました。PCR検査の拡充や発熱外来設置の検討、保健所の機能強化のための職員増、事業所・個人の損失補償などを求めました。詳しくは裏面参照。

連日のニュースで感染者がどんどん広がり、品川区でも目を追うごとに増えています（下表）。

濃厚接触者へのPCR検査や、Drの判断で検査できる仕組みを
品川では2月に屋形船、3月末に

区立認可保育園の保護者・園児、さらに区庁舎勤務の職員、4月には私立保育園の保育士の感染が発表されました。区民の感染者は14日現在、区内で5番目の104人となっています。

区は、屋形船の時は濃厚接触者のPCR検査を行いました。その後、濃厚接触者のPCR検査は行っていません。自宅待機で健康観察を行

品川区の4月感染者数（累計）

1日	24人	8日	56人
2日	29人	9日	56人
3日	30人	10日	70人
4日	38人	11日	84人
5日	41人	12日	90人
6日	41人	13日	94人
7日	49人	14日	104人

23区の居住地別感染者数(4/14累計)

千代田	12人	渋谷	81人
中央	51人	中野	70人
港	168人	杉並	107人
新宿	180人	豊島	62人
文京	26人	北	30人
台東	49人	荒川	13人
墨田	35人	板橋	50人
江東	56人	練馬	67人
品川	104人	足立	50人
目黒	76人	葛飾	46人
太田	71人	江戸川	47人
世田谷	234人		

共産党区議団の区長へのコロナ対策緊急要望項目

1. 感染拡大抑止を徹底するため、基本的に濃厚接触者にはPCR検査は実施しないという現在の対応を改め、全ての濃厚接触者にPCR検査を実施し、陽性であれば自覚症状がなくても、ホテル等に隔離する等の対応を国及び東京都に要請すること。
2. 37.5℃以上で発熱4日以上等のPCR検査基準を改め、かかりつけ医などドクターの判断で、指定医療機関への受診やPCR検査を受けることが可能になるよう、国及び東京都に要請すること。
3. 品川区保健所の機能を確保・強化するため、抜本的に職員増員・他部署との連携等を行うこと。
4. 自粛要請で苦境に陥っている事業者・個人の損失補償について、感染拡大抑止と医療崩壊阻止の観点から、業態を問わず自粛は補償とセットで実施することを国及び東京都に要請すること。また区独自に事業者・個人の損失補償策を直ちに実施すること。
5. 冷え込む経済を底上げするため、消費税5%減税を国に要請する。
6. 学校休校にあたっては、感染拡大抑止を徹底しつつ、児童・生徒の日中活動を保障するため、学習支援とあわせ、子どもの居場所づくりを拡大すること。
7. 品川区新型コロナウイルス感染症対策本部について、保健所からの感染情報の共有とあわせ、対応策は感染症専門家の意見を踏まえて実施すること。
8. 区内の発熱外来設置等について、医師会等と連携して検討すること。
9. 広報しながら区ホームページ等を活用し、保育園、幼稚園、学校、区民集会所、シルバーセンター、中小企業支援等の対応について、区民へのわかりやすい情報発信を強化すること。

い発熱など症状が出て初めて指定医療機関の紹介、検査との対応です。

また区の相談センターに電話しても4日以上発熱などの基準があり、指定医療機関に紹介・検査まで行くのはごくわずか。

3月31日までの相談件数1984件中、帰国者・接触者外来紹介142件、そのうちPCR検査

がされたのは55件との報告です。区は、国の基準で行っているとの回答ですが、検査基準の見直しが必要ではないでしょうか。

保健所の保健師等の増員 発熱外来の設置の検討を

品川区の保健師の人口対比人数はもともと23区で最も少なく、共産党はこれまでも増員を求め

続けてきました。今回の新型コロナウイルス対応で医師も保健師も過酷な労働実態に疲弊しています。抜本的な体制強化が必要です。

医療崩壊をさせないためにも区独自の発熱外来の設置は待たなすです。しかし区は、医師会等の対策会議も課題がある、発熱外来設置もスタッフ確保など課題があるとの回答です。

杉並区では医師会と連携し、4か所の発熱外来設置等の補正予算・約25億円を組みました。

自粛と補償はセットで 区独自の損失補償も

安倍政権が緊急事態宣言を出し、自粛は要請しながら補償をしないことは大問題です。区内の飲食業や事業所の方々からも「感染の不安といままで続けられるかの不安で押しつぶされそう。補償を出してもらい店を閉めたい」と切実な声。国は自粛とセットで補償すべきです。

品川区には1000億円超の基金があります。今こそ区独自の補償や発熱外来設置など新型コロナウイルス対策に活用すべきです。

●新型コロナウイルスに関する感染の予防、心配な症状や対応などについての相談

【品川区電話相談窓口】 ☎03-5742-9108 受付時間/月～金曜日午前9時～午後5時（祝日を除く）

●新型コロナ受診相談

☎5742-9105 月～金曜日=午前9時～午後5時

☎5320-4592 月～金曜日=午後5時～翌日午前9時。土・日曜日、祝日=終日

●【かかりつけ医】 ☎でまず相談

無料 法律・生活相談会

4月27日(月) 午後3:00～

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 ☎3783-8833

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。